

SOAS Language Centre Intermediate Japanese Class Projects 2010-2011

太鼓について By Petronille Bacchus

みなさん日本の太鼓の音を聞いたことがありますか？ 今日は太鼓についてお話しします。

太鼓の物語は、あまてらすの大神（おおみかみ）に関連しています。この神は、女の神ですが、昔、洞窟に隠れていましたから、世界が暗くなりました。アマテラス大神が洞窟から出てくるように、他の神が集まって、太鼓をたたきました。

私が初めて、太鼓の音を聞いたのは子供の時です。両親と兄と一緒に太鼓の公演を見に行きました。パフォーマーのグループの名前は鼓童（こどう、Kodo) でした。漢字「鼓」は《drum》の意味で、漢字「童」は、「子」と同じ意味です。ですから、鼓童（こどう）は「太鼓の子」という意味です。

でも「こどう」には、他の意味もあります。心臓の鼓動（こどう）《heart beat》です。

鼓童は、三十人ぐらいのパフォーマーからなります。鼓童のメンバーは、太鼓の練習をするために、みんなで佐渡島にすんでいます。

1981年に太鼓のグループ「鼓童」が結成されて、ドイツで最初の公演をしました。

1988年に「鼓童」の村をつくりました。練習の場所も宿舎もできました。今はリハーサルの部屋もあって、そこには、パフォーマーと、見習いとスタッフが七十人ぐらいいます。

1981年から世界中で色々な公演をしたり、お祭りに参加したりしています。

「鼓童」の公演は本当にすばらしいと思いました。でも兄の耳がとても弱くて気分が悪くなったので、公演中にコンサートホールを出なければなりませんでした。

コンサートの後で、CDを買いました。自分で買った最初のCDです。このあとで、音楽の学校で四年間パーカッションを勉強しました。

兄と私の二人は、太鼓の音に強く感動しました！

©School of Oriental and African Studies